

令和8年度 府中市立府中第九小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	・ 促音や拗音を適切に書くことを苦手としている児童がいる。 ・ 既習の漢字やカタカナを正しく書くことを苦手としている児童がいる。 ・ 文章の中の大事なことは何なのか、理解することが難しい児童がいる。	・ 実際に音読をさせて、声に出しながら書く練習をさせたり、その言葉が入った文章を視写させたりする。【表現】 ・ 昨年に引き続きデジタル教科書を活用し、繰り返し書いたり読んだりすることで、定着を図る。【発見】 ・ 大切な言葉に線を引いたり丸で囲んだりして、何を聞かれているか、何を答えたらいいか、一人でも分かるようにする。【発見】		
算数	・ 「時刻と時間」「長さ」では、「時刻と時間」の区別をしたり、長さを正確に測ったり、計算したりすることが難しい。 ・ 文章問題の数字だけを見て立式しているため、題意にあった土気を立てることが苦手な児童がいる。 ・ 「繰り下がりのある筆算」では、繰り下がりのない問題が混じっていても正しく計算することが課題である。	・ 具体物の操作や書き込みの際に ICT を有効的に活用する。【発見】 ・ 意図的に「時刻と時間」について、時計を見せながら問いかけたり、他教科でも作図をさせたり、長さを測らせたりする機会を多くもつ。【発見】 ・ 図を描いたりブロックを使ったりすることによって、問題場面を具体的にイメージできるようにする。【発見】 ・ 繰り下がりが無いものと繰り下がりがあるものが混じっている計算練習をさせることで、それぞれの計算の仕方の違いや共通点に気付かせる。【発見・決定】		
生活	・ 観察カードなどで、気付いたことや感想を書くことが難しい児童がいる。	・ 友達同士で発見カードを読み合い、「いいところ見つけ」をさせることで、次の観察に活かす。【発見・対話】 ・ 変化や気持ちなどを書くことができてワークシートを紹介し、着眼点のよさを学級で共有する。【対話】		
音楽	・ リズム打ちを正確に行うことが難しい児童がいる。 ・ 技能面で、鍵盤ハーモニカを演奏することに対して苦手意識をもっている児童がいる。	・ リズム譜を声に出して練習し、手と声の動きが一致できるようにする。【表現】 ・ 鍵盤の技能を向上させるために、指使いを繰り返し練習して定着させる。【決定】		
図画工作	・ 自分のイメージがすぐにはまとまらず、作品作りに入るまでに時間がかかる児童がいる。 ・ 最後まで粘り強く取り組むことが苦手な児童がいる。	・ 見本を見せながら道具や材料の適切な使い方を指導し、イメージが膨らむような作品事例を紹介する。【発見】 ・ 友達の作品のよさを見つけたり、発表したりする場を設定する。【対話】 ・ 出来上がった作品のよさを伝え、さらによくなるような技術的支援を行う。【決定・表現】		
体育	・ 運動能力に差がある。 ・ 自ら進んで運動しようとする児童が少ない。	・ 「やりたい」「楽しい」という気持ちになるように、スモールステップで少しずつできるようにしたことを教員が認め、児童に意識させながら進める。【発見・決定】 ・ 児童の実態に合わせた場や課題を組み合わせ、選択したり補助したりしやすい環境を整えるようにする。【決定】 ・ 明確で短い指示を常に意識し、たくさん褒めて規律ある集団行動ができるようにさせる。【表現】 ・ 活動を行う前に、動画を活用して、できるポイントを確認させる。【発見】 ・ 発達段階に応じて、簡単なきまりや活動を工夫し、各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け体力を養う。【表現】 ・ 意欲を高める課題を提示する。【決定・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。